

実力者の貫禄!!2位に25秒差

松本 ぐりぐり

30年記念小川和紙マラソン大会

第30回記念小川和紙マラソン大会(後援・読売新聞)が、協賛新聞社ほか、協力・読売センター小川ほか、が昨年12月11日、小川町の埼玉伝統工芸会館周辺コースで行われた。30年記念大会は、初出場の松本(左)、香居城南2年、が9分14秒で優勝、県中学総体などで優勝経験もある実力者が貫禄を示し、2位に25秒差をつけた。



30年記念大会で初出場の松本

3年ぶりの開催に2000人以上のランナーが集った。松本が気持ちよく走り、コースを駆け抜けた。レースでは貫禄を見せた。最初はゆくりの出陣で、スタート直後は3番手だが、「ロードでの大会は初めて。トラックとは違い景色が流れていくレースに走りやすく気持ち良かった」と、さわやかに笑った。



右手を突き上げてゴールテープを切った松本

ロードは初出場。3年ぶりの開催に2000人以上のランナーが集った。松本が気持ちよく走り、コースを駆け抜けた。レースでは貫禄を見せた。最初はゆくりの出陣で、スタート直後は3番手だが、「ロードでの大会は初めて。トラックとは違い景色が流れていくレースに走りやすく気持ち良かった」と、さわやかに笑った。

女子に負けた衝撃が陸上の道へ



元気よくスタートする小学生ランナー

陸上を始めたのは小学6年からと最近だが、その理由に「女子に負けたことが悔しかった」と自信があった。学校のマラソン大会で女子に負けたという衝撃の経験が松本を陸上の道へと誘った。地元・城南クラブに入部すると、天性の素質が開花した。

現在も多い時で10キロを走り込み、3000メートルは昨年8月の全国大会出場標準記録も上回った。今年、新たに標準記録を切ることは必要だが、全国大会出場はもちろん最低限の目標。全国大会で入賞したい」と言う松本が、中学最終学年での活躍を誓った。



塚原 競り合い制した

○20小学生男子の部では塚原泰志(フアイト川越)が6分30秒で優勝。2位の松本は6分55秒で、25秒差をつけた。

勝った。終盤まで競り合いを展開。塚原は「強いな人多くて駆け引きが楽しかった」と嬉しそうに表情。コロナ禍で中々となる前年より9年ぶりに父が参加した。親子の部で優勝して、3年ぶりの「連覇」。塚原は「父にいい報告ができます」と笑顔で話した。

- 男子
 - ①松本眺空(香居城南) 9分14秒
 - ②齋藤秀伍(毛呂山) 9分39秒
 - ③佐藤環(香居城南) 9分41秒
 - ④塚原泰志(フアイト川越) 6分30秒
 - ⑤上原将(さいたま市) 6分31秒
 - ⑥磯崎博(鶴ヶ島) 6分48秒
- 女子
 - ①水野裕美(東京都) 11分18秒
 - ②新井真尋(香居城南) 11分19秒
 - ③柴崎莉子(香居城南) 11分32秒
 - ④町田彩羽(東松山) 7分31秒
 - ⑤山崎樹乃(KJM) 7分33秒
 - ⑥鈴木朋奈(KJM) 7分46秒

天性の素質開花

陸上を始めたのは小学6年からと最近だが、その理由に「女子に負けたことが悔しかった」と自信があった。学校のマラソン大会で女子に負けたという衝撃の経験が松本を陸上の道へと誘った。地元・城南クラブに入部すると、天性の素質が開花した。

新井 悔しすぎる2位

○20小学生女子の部で、新井真尋(香居城南)が2位の成績で悔しすぎる2位となった。折り返し後からトップを守っていたが、ゴール10分前で東(京都)の選手に逆転された。新井は「気が付かなかった。油断していました」と、悔しさを隠さず話した。

「万寿のしずく」とは、れんこんの皮を削ぎ、その皮を水で洗って、その皮を水で洗って、その皮を水で洗って...

「万寿のしずく」を凝縮しました。

「万寿のしずく」を凝縮しました。

50・60・70・80代の方へ朗報です!!

発酵パイパイで実感!!

自然のもので出来ているので、安心して続けられます。

体力的に若いと言われました。自分でも驚きです。私にとって元気を維持してくれる存在です。

趣味を楽しめるほどに元気です。これからも家族みんなで続けます。

夜もぐっすり。

「万寿のしずく」のおかげです。

まずは20日間「気持ちいい朝」を体験してください!!

「万寿のしずく」初回お試し限定セット

通常2,592円(税込)が **500円** (税込) 送料無料で!

お申込番号 **T009**

お電話時間: 年中無休 朝9:00~夜9:00 (年末年始除く)

FAX 0120-485-285